

# さくらそう通信

VOL.32 2021.7

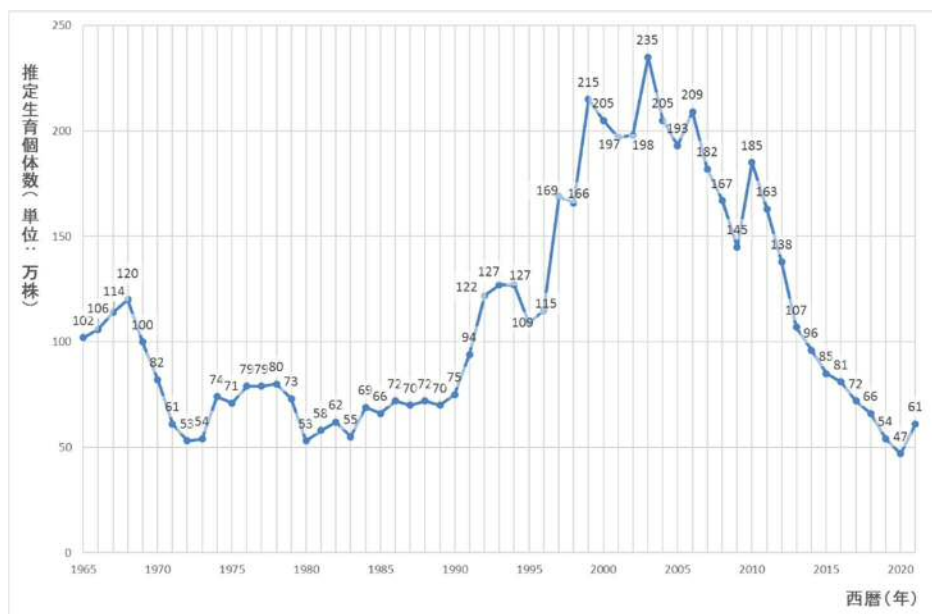


## 令和3年度 サクラソウ生育状況調査結果

田島ヶ原サクラソウ自生地では、昭和40年（1965年）より、サクラソウの生育状況調査を毎年実施しています。

第一次指定地に10メートル×10メートルの調査枠を11カ所設置し、枠内のサクラソウの生育個体数と開花個体数を数えています。1調査枠あたりの個体数平均から、自生地全体（約4.12ヘクタール）の生育個体数を推定しています。

今年は、4月5日から5月7日まで調査を実施しました。1調査区あたりの生育個体数平均は約1,469株、自生地全体の推定生育個体数は約61万株でした。なお、開花個体数については、1調査区あたりの平均は235株、開花株率は16.0%でした。



▲サクラソウ推定生育個体数の増減グラフ

### 2020年と2021年の調査結果比較

測定年	2020年	2021年	増減
1調査区あたりの生育個体数平均	1,146株	1,469株	323株
自生地全体の推定株数	47万株	61万株	14万株
1調査区あたりの開花個体数平均	183株	235株	52株
開花率	16.0%	16.0%	0%

## 令和3年度の保全の取り組み

田島ヶ原サクラソウ自生地を保全していくため、様々な調査や管理作業を行っています。

(1) サクラソウ生育状況調査

前頁で紹介したとおり、11カ所の調査区にて、生育個体数及び開花個体数を数えました。

(2) 植生調査

第一次指定地に30箇所設置した1m×1mの調査枠内に出現する植物を記録しています。

(3) 外来植物等の除去、抑制

サクラソウをはじめとする在来植物の植生を保全するため、外来植物等を抜き取っています。また、繁殖力が強く、サクラソウの生育を妨げる在来植物の間引きも行っています。



▲外来植物等の除去作業の様子

(4) 樹木剪定

指定地の日照を確保し、植物遷移を抑制するために、指定地内の樹木の剪定及び伐採を行います。

(5) 草焼き

枯草を焼却し、地表に陽光が当たるようにしてサクラソウの芽吹きを促します。令和4年1月に実施する予定です。

(6) 灌水実験

効果的な人為的灌水方法や派生する影響の有無等を調査するため、第一次指定地B区北側にて灌水実験を実施しています。

(7) 自然科学分析調査

サクラソウの減少要因を把握し、対策を講ずるため、サクラソウのDNA解析や、生育環境調査（土壌分析等）を実施しています。令和元年度から令和5年度まで実施予定です。

### 令和3年度 保全の取り組み年間スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サクラソウ生育状況調査	—											
植生調査	—											
外来植物等の除去、抑制	—											
樹木剪定										—		
草焼き										—		
灌水実験	—											—
自然科学分析調査	—											

さくらそう通信 32号 発行日：令和3年7月7日

編集・発行：さいたま市教育委員会 さいたま市浦和区常盤 6-4-4 ☎048-829-1723（文化財保護課）